



# フルHD対応HDMI パソコン自動切替器(2:1) 取扱説明書

SW-KVM2HU



**最初に  
ご確認ください。**

**セット内容**

- 切替器本体 ..... 1台
- 取扱説明書・保証書(本書) ..... 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、  
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

キリトリ線

## 保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態で使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - (1)保証書をご提示いただけない場合。
  - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
  - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

## 保証書

保証書

サンワサプライ株式会社

品番		SW-KVM2HU	
シリアルナンバー			
お客様	お名前		
	〒 ご住所	TEL	
販売店	販売店名・住所・TEL		
	担当者名		
保証期間		12ヶ月	お買い上げ年月日 年 月 日

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

## サンワサプライ株式会社

2010.4現在

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
 東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990  
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区福岡1-6-37宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジャヤビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

10/04/TMDaAt

## 1. 目次

1	1.目次
	2.はじめに
	3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
2	4.取扱い上のご注意
	5.特長
3	6.仕様
4	7.各部の名称・説明
5	8.接続方法
6	9.切替方法・操作方法
7	10.切替器のカスタマイズ
10	11.トラブルシューティング
	免責
	保証規定
	保証書

## 2.はじめに

この度はフルHD対応HDMIパソコン自動切替器SW-KVM2HU(以後、本製品と表記)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、1組のキーボード・マウス・ディスプレイで2台のパソコンを切替えて使用するための切替器です。本取扱説明書は、本製品を正しくご使用いただくための取扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。なお、お読みになった後も本書はお手元に置いてご使用ください。

## 3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

### ■警告:下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

- 分解、改造はしないでください。(火災・感電・故障の恐れがあります)  
※保証の対象外となります。
- 水などの液体に濡らさないでください。(火災・感電・故障の恐れがあります)
- 小さな子供のそばでは、本製品の取外しなどの作業をしないでください。  
(飲み込んだりする危険性があります)

### ■注意:下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- 取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
  - ①直射日光の当たる場所
  - ②湿気や水分のある場所
  - ③傾斜のある不安定な場所
  - ④静電気の発生する場所
  - ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

### ■お手入れについて

- ①清掃するときは電源を必ずお切りください。
- ②機器は柔らかい布で拭いてください。
- ③シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください。

## 4.取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめにすることを勧めます。(切替時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜け等)

## 5.特長

- 1組のコンソールで2台のパソコンを切替えて共有  
2台のHDMI出力を持つパソコンを、1組のUSBキーボード・USBマウス・HDMIディスプレイで切替えて使用できます。キーボード・マウス・ディスプレイが1組で済むからデスク周りをすっきり省スペース化できます。
- WUXGA(1920×1200)、フルHD(1920×1080)対応  
フルHD(1920×1080)、WUXGA(1920×1200)(DVI変換時)の超高解像度に対応。ワイドディスプレイ表示にも対応しています。
- HDMI Ver.1.3a対応  
HDMI Ver.1.3aに対応しておりDeep ColorやDolbyTrueHDにも対応しています。
- デジタルオーディオに対応  
HDMI映像と同時に音声もHDMI経由で出力することができます。
- HDCP対応  
HDCP(デジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システム)に対応しているのでHDMI経由でもブルーレイディスクや地上デジタル放送の受信・再生が可能です。
- ディスプレイエミュレーション機能搭載  
ディスプレイのEDIDを読み込みKVMに保存。DDC通信時に各ポートへ応答することで裏起動時に画面解像度が変わったり画面サイズが変わるという問題が発生しません。
- USB接続タイプ  
キーボード・マウスはUSB接続タイプでマウスは多機能ボタンやチルトホイール機能にも対応しています。
- ワイヤレスキーボード&マウスセットに対応  
レシーバーをKVMのキーボードポートに接続すれば、使い慣れたワイヤレスデバイスをそのまま2台のパソコンで共有できます。
- マウス・キーボードのみの接続可能  
ディスプレイは直接パソコンに接続したまま、マウス・キーボードだけをKVMに接続し切替共有することができます。
- ホットキー、スクロールボタン、オートスキャン 3通りの切替方式に対応  
切替方法はホットキー切替(Ctrl×2 またはScrollLock×2)、マウスのスクロールボタンでの切替え、オートスキャン切替の3通りに対応しています。  
※注:マウス切替機能を使用するにはマウスエミュレーション機能をON(有効)にしておく必要があります。
- キーボードエミュレーション・マウスエミュレーション機能搭載  
キーボードポートをエミュレーションしているため2台のパソコンを同時に起動することができます。また再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。マウスポートもエミュレーション機能を搭載しているため切替え後に素早い操作開始ができます。(マウスポートはエミュレーション機能のON/OFFができます。)
- Windows OS、Linux OS、Mac OSに対応  
片方がWindows OS、もう片方がMac OSという環境でも1組のコンソールで共有できます。Windows OSとLinux OSの混在環境でも切替え可能です。  
※カーネルのバージョン・ディストリビューションの仕様により使用できない場合があります。
- 簡単接続でソフトウェアのインストール不要

## 6.仕様

対応パソコン	DOS/Vデスクトップパソコンまたはノートパソコン、Apple Macシリーズ (USB Aコネクタ メス、HDMI出力を持つ機種)
対応キーボード	USBキーボード ※1・2・3・4・5
対応マウス	USBマウス ※3
対応ディスプレイ	HDMI入力端子を標準搭載しているテレビ・パソコン用ディスプレイなど
対応OS	Windows 7、Vista Windows Server 2003/2008、Windows XP (Home/Professional Edition)・ Windows 2000 (Professional/Server/Advanced Server) Mac OS X (10.0以降)、Mac OS 9.0以降 Linux (Redhat9.0動作確認)
対応解像度	最大解像度1920×1200 (@60Hz) (WUXGA)まで対応
インターフェース	<パソコン用> ディスプレイ:HDMIコネクタオス×2、キーボード/マウス:USB Aコネクタ (オス)×2、 給電用:USB Aコネクタ (オス)×2 <コンソール用> ディスプレイ:HDMIコネクタメス×1、キーボード:USB Aコネクタメス×1、 マウス:USB Aコネクタメス×1
切替方式	ホットキー切替 (パソコンAとBを切替)…… 「Ctrl」「Ctrl」「Enter」もしくは「ScrLock」「ScrLock」「Enter」(どちらかを選択) マウス切替……スクロールボタンをダブルクリック オートスキャン切替 (自動で交互に切替)…… 「Ctrl」「Ctrl」「A/a」「Enter」もしくは「ScrLock」「ScrLock」「A/a」「Enter」 (どちらかを選択)
消費電力	動作電圧-USBポートから電源供給/DC+5V 消費電流/530mA (最大) 消費電力/2.5W (最大)
動作時温度・湿度	0～50℃ 湿度80%以下 (結露なきこと)
保存時温度・湿度	-20℃～60℃ 湿度80%以下 (結露なきこと)
サイズ	W78×D72×H24.5mm (本体サイズ)
ケーブル長	0.9m (切替器-パソコン間)
重量	282g
付属品	パソコン切替器本体×1、取扱説明書 (保証書付き)×1

### ■HDMI仕様 (HDMI Ver.1.3a)

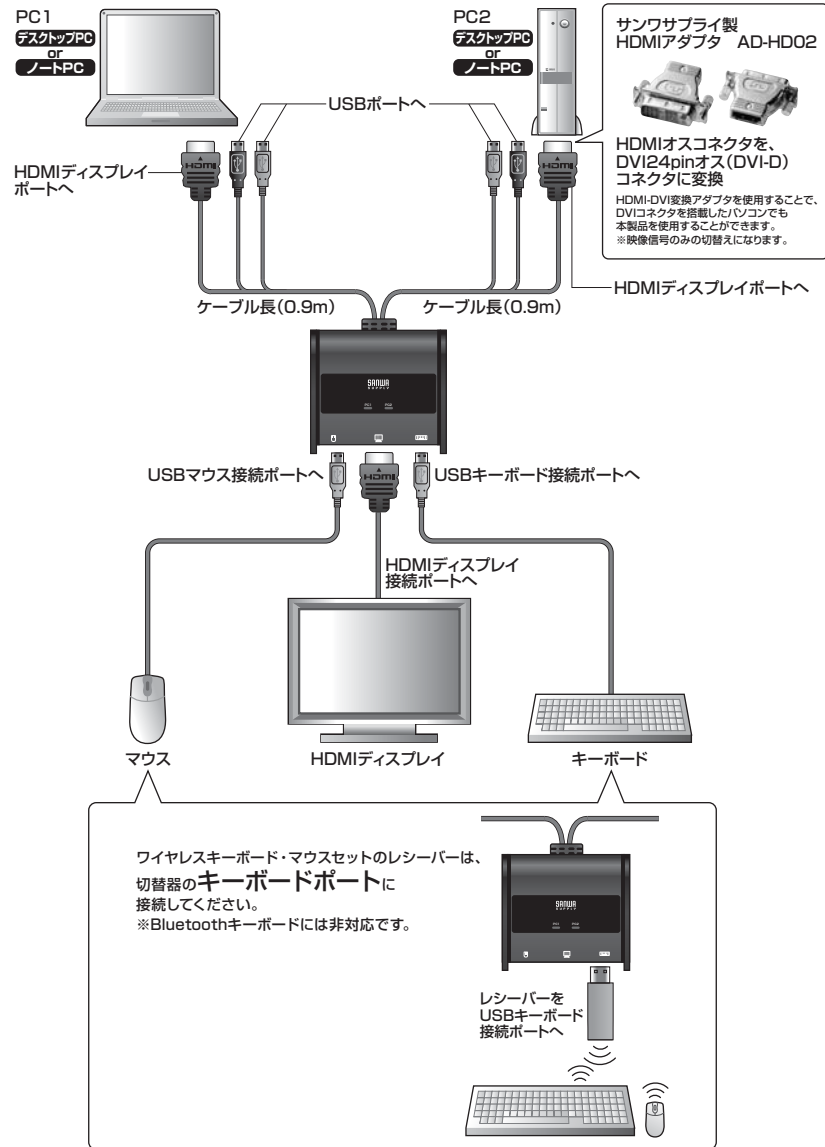
音声	Dolby Digital/DTS:対応 DVDオーディオ:対応 Dolby True HD:対応 DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio:対応 PCM:8ch (7.1ch)
映像	解像度:1080p (1920×1020)、WUXGA (1920×1200) 色深度:12bit/RGB36bit、Deep color ※接続するHDMI入出力機器がディープカラーに対応している場合のみ 色域規格:xvYCC対応
機能	機器間制御:非対応 リップシンク:非対応

- ※1:キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバを要する機能については本製品経由では使用することができません。  
 ※2:指紋認証機能付キーボード、トラックパッド付きキーボードなどでは動作しないことがあります。  
 ※3:Bluetoothキーボード・Bluetoothマウスには非対応です。  
 ※4:キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。  
 ※5:Logicool製Unifyingレシーバーを使用するキーボード・マウスはドライバが特殊なためKVM経由では動作致しません。

## 7.各部の名称・説明



## 8. 接続方法



※実際の比率とは異なります。

## 9. 切替方法・操作方法

### 1. マウスでの切替方法

マウスのスクロールボタンをダブルクリックしてください。  
瞬時にパソコン1⇄パソコン2に切替えます。



※マウスのエミュレーション機能が有効の時に可能です。  
(初期設定:有効)

マウスエミュレーション機能を無効にするにはP.7「10.切替器のカスタマイズ」の「3.マウスエミュレーション機能」をご覧ください。

### 2. ホットキー(キーボード)切替え

ホットキー切替えとはキーボードのキー入力でポートを切替える方法です。  
下記のキー入力を順に行ってください。(連続して行ってください)

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[Enter]	パソコン1⇄パソコン2に切替えます。

### 3. オートスキャン切替え

オートスキャン切替えは、一定間隔で自動的にポートを切替える方法です。  
毎回手動で切替え操作することなく、自動的に切替わるので接続されたパソコンの稼働状況などをモニタリングするのに最適です。ホットキー操作については下表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[A]→[Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVMコントロールが5秒間隔で切替わります。(初期設定)
[Ctrl]→[Ctrl]→[A]→[Enter]→[1]~[4]	オートスキャン実行中にフルキー側の[1]~[4]を押すことでオートスキャン切替えの秒間隔を指定できます。 [1]…3秒間隔 [2]…5秒間隔(初期設定) [3]…10秒間隔 [4]…20秒間隔

※オートスキャン有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード入力は無効になります。  
※オートスキャンモードを終了するには、[Esc]または[スペース]キーを押してください。  
オートスキャンモードを終了すると、オートスキャンが終了します。

## 10.切替器のカスタマイズ

### 1.ホットキーの変更

ポート切替えなどに使用する【Ctrl】キーがコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合にそなえ、【ScrLock】キーに変更することもできます。設定変更には以下の操作を行ってください

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【X/x】→【Enter】	【Ctrl】【Ctrl】のキーを【ScrLock】【ScrLock】キーに変更します。 元に戻す場合:【ScrLock】→【ScrLock】→【X/x】→【Enter】 ※ホットキーを【ScrLock】【ScrLock】に変更時には本取扱説明書に掲載する全ての【Ctrl】【Ctrl】キーを【ScrLock】【ScrLock】キーに置き換えてホットキーをご利用ください。

### 2.ディスプレイエミュレーション機能

本製品はKVMスイッチに接続されたディスプレイのメーカー名やディスプレイに関する情報を読み込み、記憶するディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。この機能を利用する場合は以下の手順で操作を行ってください。

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【D/d】→【Enter】	ディスプレイエミュレーション機能を使用し、KVMスイッチ内にディスプレイ情報を記憶します。

### 3.マウスエミュレーション機能

本製品は初期設定でマウスエミュレーション機能が有効になっています。マウスエミュレーション機能が有効になると切替器のポート切替後、即マウスが反応し操作が可能になります。ただし、特殊なドライバを要するマウスは信号をエミュレーションできないため使用できません。

特殊なドライバを要するマウス(ボタンの割付が可能なマウスやカードリーダー搭載マウスなど)を使用する場合はマウスエミュレーション機能を無効にしてください。USBマウスポートがバイパス状態となり、接続する全てのUSBマウスが使用できるようになります。ただしポートの切替時に毎回接続・認識を行うためマウス動作開始まで数秒間のタイムラグが発生します。

ご使用になられるマウス環境により、マウスエミュレーション機能を有効/無効にしてください。

以下の手順で操作を行ってください。

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【M/m】→【Enter】	マウスエミュレーション機能を有効または無効にします。(初期設定:有効)

## 10.切替器のカスタマイズ(続き)

### 4.マウス切替機能の有効/無効

本製品はマウスエミュレーション機能が有効の場合、スクロールボタンのダブルクリックでポートを切替えるマウス切替機能を搭載しています。初期設定ではマウス切替機能は有効ですが、設定により無効にすることもできます。

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【W/w】→【Enter】	マウス切替機能を有効または無効にします。(初期設定:有効)

### 5.使用キーボードの設定

本製品はWindows機、Mac機の混在環境でも使用することができWindowsキーボード、Macキーボードどちらでもご使用いただけます。ただし、Macキーボードの一部のキー(【Eject】キーや【ボリューム】キー)がWindowsキーボードには設定がないため使用することができません。またWindowsキーボードでMac機を操作する場合にも一部のキーが使用できません。

切替器本体のOS設定をすることでWindowsキーボードでMac機を操作できるようになります。

※切替器のOS設定をしなくても基本的なキーボード操作は可能です。(文字入力など)

※切替器の初期設定(デフォルト)はWindows用になっています。

※切替器は各ポートごとにOS設定が可能です。(ポート1はWindows、ポート2はMacなど)

※アプリケーションソフトなどをインストールする必要のあるキーボードは一部のキーが反応しないことがあります。

### パソコン・キーボード対応表

	Windows機	Mac機
Windowsキーボード	対応	キーボードマッピング(次ページ)参照
Macキーボード	基本入力のみ	対応

※接続するパソコンのOSとKVMのOS設定(ポートごとに)同じにすることで上記対応が可能になります。

### OS設定方法

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【F2】→【Enter】	KVMのOS設定をMacにします。WindowsキーボードでMacを操作する場合、この設定にしてください。
【Ctrl】→【Ctrl】→【F10】→【Enter】	KVMのOS設定をWindowsにします。Mac用キーボードでWindowsを操作する場合、この設定にしてください。

※以上の操作で切替器のOS設定は変更されます。これらの操作は一度設定すれば次回起動時からは必要ありません。使用環境が変わった場合は再度変更してください。

## 10.切替器のカスタマイズ(続き)

### キーボードマッピング表

Macキーボード	Windowsキーボード
左[Shift] or 右[Shift]	左[Shift] or 右[Shift]
左[Ctrl] or 右[Ctrl]	左[Ctrl] or 右[Ctrl]
⌘ (Mac command)	⊞ (Windows command)
左[Alt(option)] or 右[Alt(option)]	左[Alt] or 右[Alt]
F13	[Print Screen]
F14	[Scroll lock]
F15	左[Ctrl]、[Win] or 右[Ctrl]、[Win]
=	[Application]
▲ Eject	左[Ctrl]、[4] or 右[Ctrl]、[4]
◀ Mute	左[Ctrl]、[1] or 右[Ctrl]、[1]
🔊 V_DN	左[Ctrl]、[2] or 右[Ctrl]、[2]
🔊 V_UP	左[Ctrl]、[3] or 右[Ctrl]、[3]
Return	[Enter]
Delete	[Back Space]
Help	[Insert]

### 6.現在の設定情報を確認する

現在の各エミュレーションの有効/無効状況、KVMのOS設定状況などを確認できます。  
メモ帳やテキストを開いた状態にしてから下記手順を行ってください。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[F4]→[Enter]	メモ帳やテキストに現在の各設定状況をリストアップします。

### 7.USBポートのリセット

USBマウスポートが反応しなくなった場合、USBポートのリセットをすることで再認識させることができます。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[F5]→[Enter]	USBポートのリセットを行います。

### 8.全ての設定を初期設定に戻す

USB各エミュレーション設定やOS設定状況を全て工場出荷時の初期設定に戻します。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[R]→[Enter]	工場出荷時の初期設定にリセットします。

## 11.トラブルシューティング

Q1)指紋認証機能付きマウス、多機能ボタンマウスに対応していますか?

A1)マウス接続ポートは初期設定でマウスエミュレーション機能が有効になっています。5ボタンマウスまでは初期設定のままでも使用できますが、特殊なドライバを要するボタンや指紋認証機能付きマウスなどに対応しておりません。マウスエミュレーション機能を無効にすることでマウスポートがバイパスになり、対応することができますが、消費電力の高いデバイスについては動作しないことがありますのでご注意ください。

Q2)ワンタッチボタン機能などを搭載したキーボードでワンタッチボタン機能が使用できない。

A2)ワンタッチボタン機能など、ドライバのインストールを要する機能についてはサポートしておりません。

Q3)ディスプレイの解像度を設定しても切替えると初期値に戻ってしまう。

A3)本製品はディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。ホットキー操作によりディスプレイのEDID(識別情報)をKVM内に記憶させてから再度お試しください。

Q4)キーボードが認識しない。(動作しない。切替操作もできない)

A4)他のキーボードでも接続をお試しいただける場合はお試しください。また他のパソコンでも試せる場合はお試しください。特定のキーボード・パソコンでのみ発生する症状の場合、製品の相性問題の可能性あります。

Q5)スプリッターケーブルを使用してKVMと接続し使用できますか?

A5)本製品はスプリッターケーブルを使用した接続には対応しておりません。

Q6)ワイヤレスキーボード・マウスセットでレシーバーが1つのタイプでも使用できますか?

A6)使用できます。ただし一部のキーボード・マウスセットで動作しない場合があります。

- ロジクール製品Unifyingレシーバーを使用した機種
- Bluetoothキーボード・マウス
- 特殊なドライバを使用するキーボード・マウスセット など

Q7)DVI端子しか搭載していないデスクトップパソコンで、DVI→HDMI変換アダプタを使用して使用できますか?

A7)基本的に問題はありません。ただしDVI端子は映像信号しか出力していませんので、HDMI端子に変換した場合は映像信号のみの伝送となります。

### 免責

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。